

昔と変わらぬ
素朴な味わい

下総玩具

素朴な味わいで人気のある下総玩具の創始者、松本節太郎さん「柏市根戸」の満百歳を記念し、同市内の画廊に下総玩具の資料室が開設されることになり、六日から同室で開設記念「100歳の個展」が開催される。



柏市の画廊内に開設された資料室

創始者・松本節太郎さん100歳展 柏の画廊内に資料室開設

松本さんは一九〇三（明治三十六）年、東京・下谷の染物屋の四男として生まれた。四十代ごろまでは職を転々としていたが、一九四五（昭和二十）年に戦災で柏市へ疎開した際に、ちょっとした好奇心から裏山の粘土を使い、手びねりで七福神などの人形を作るようになった。やがてこれらを上野、浅草、亀戸天神などへ出向き売り始めた。下総玩具という名はこの時分に、都内の人たちに



下総玩具の創始者、松本さん

と、命名したといい、現在では郷土玩具の愛好家に広くその名が知れ渡っている。松本さんは今年一月に百歳を迎えたが、現在も自宅兼工房で、一つ一つの人形を昔と変わらぬ製法で創作し続けている。ただ、松本さんには後継者が無く近い将来、下総玩具が消えてしまう可能性が高まったことから、松本さんと交流のある画廊店主の鈴木昇さんが、自身の経営する「ギャラリー ヌーベル」に資料室を開設することになった。六畳の和室を改装した

資料室には「西遊記」や干支を題材にした土人形、ダルマや面など古書に材料にした張子など、初期のものから近作まで約四百点が展示される。資料室開設記念展は六日から二十三日まで同画廊内で開催され、展示だけでなく即売も行われる。「敬老の日」には、また期間中は市川市に在住する文化勲章受章のガラス作家・藤田喬平さんと小谷真三さんの作品展も併せて開かれる。

問い合わせは「ギャラリー ヌーベル」☎04-7146-6800。